

世界史 A

(解答番号 ~)

第1問 史跡は、歴史を調べるための重要な手掛かりになることが少なくない。そのような史跡について述べた次の文章A・Bを読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

A 卒業旅行でパリに行った福沢さんと板野さんは、訪れたペール＝ラシェーズ墓地で思わぬ発見をして興味を抱いた。



ペール＝ラシェーズ墓地の墓碑

福 沢：おや、こんな所に日本人のものらしき墓があるよ。

板 野：本当だ！ かなり古そうな墓に見えるなあ。

福 沢：「慶応三^{ひのとう}丁卯年 大日本肥前野中元^{のなかもと}
右衛門之墓^{えもんのはか} 五月十二日」と書いてあるね。慶応3年は、確か明治維新の前年だったね。

板 野：すると、江戸時代にフランスに来た肥前の野中さんという人の墓だよな。肥前の地の大半は佐賀藩だったよね。なぜこんな所に彼の墓があるんだろう。

福 沢：確か、当時のフランス君主の は、 に勝利して中国進出を強化する傍ら、日本とは良好な関係を築いたんだ。そのなかで、1867年にパリで万国博覧会が開催されたんだよ。

板 野：ガイドブックで調べてみると、江戸幕府はフランスとの結び付きを強めて、その万国博覧会に参加したようだね。

福 沢：1867年のパリ万国博覧会は、アの主導によって開催され、工業製品の他に、農産物や美術工芸品なども出品されたんだ。日本から出品された美術工芸品は、ジャポニズムを巻き起こし、^aフランスの印象派に影響を与えたと言われているんだ。

板 野：野中はその万国博覧会に関わったということかな。

福 沢：佐賀藩や薩摩藩(鹿児島藩)なども幕府とは別に独自に出品したんだけど、野中は肥前の陶磁器の振興を図った豪商として知られているから、そうした陶磁器類が出品された可能性もあるよ。

問 1 文章中の空欄アの人物の治世におけるフランスの政策について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。1

- ① バタヴィアを拠点に、植民地支配を広げた。
- ② メキシコ干渉のために出兵した。
- ③ オーストリア、イタリアと三国同盟を結んだ。
- ④ 失業者救済を目指して、国立作業場を設立した。

問 2 文章中の空欄イの戦争について述べた次の文*あ*といの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。2

- あ* フランスは、イギリスとともに出兵した。
- い* 北京条約によって、天津が開港された。

- ① *あ*—正 *い*—正
- ② *あ*—正 *い*—誤
- ③ *あ*—誤 *い*—正
- ④ *あ*—誤 *い*—誤

世界史 A

- 問 3 前の文章を参考にしつつ、野中がパリ万国博覧会に関わった理由う・えと、
下線部㊸の画家が描いた絵画X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～
④のうちから一つ選べ。 3

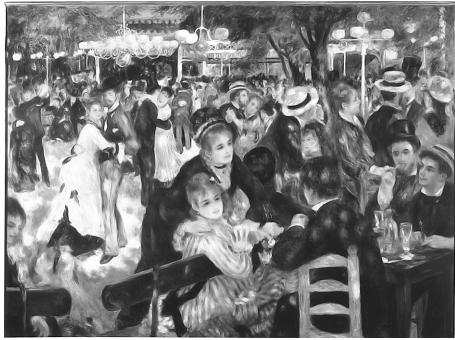
野中がパリ万国博覧会に関わった理由

う 佐賀藩の関係者だったから。

え 薩摩藩の関係者だったから。

下線部㊸の画家が描いた絵画

X



Y



- ① う — X
- ② う — Y
- ③ え — X
- ④ え — Y

B 研修旅行でソウルを訪れた先生と生徒が、ソウル西郊に残る独立門を眺めながら、会話をしている。

省略

先生：この独立門は、パリにある凱旋門を模したものとされています。

佐野：日本からの独立を記念して建てられたものですね。

先生：いや、それは違います。これは1897年に独立協会という団体が建てたものです。

宮崎：では、独立は何を意味しているのですか。

先生：それは門のそばに立っている二本の石柱が何なのかが分かれば見えてきます。

佐野：この石柱は一体何ですか。

先生：⑥ 朝鮮王朝は中国から冊封を受けていたので、中国皇帝の使節を臣下の立場から迎えていましたが、皇帝の使節を皇帝の「恩」と位置づけて、その使節を迎えるための門を迎恩門と名付けました。この石柱はその一部です。つまり、独立門は迎恩門が壊された後、その跡地に建てられたこととなります。このことに独立協会の意図を読み取ることができます。

世界史 A

宮 崎：なるほど，独立門の「独立」は ウ ということが意識されているので
すね。

先 生：そのとおりです。独立協会の機関紙的役割を果たした『独立新聞』は，漢
字を使わずに，㉔ ハングルのみを使った最初の新聞としても知られて
いますね。しかし結局，独立協会は 1898 年に㉕ 大韓帝国政府によって
解散させられてしまいました。

問 4 下線部㉖に関連して，中国とその周辺諸国との関係の歴史について述べた文
として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 新羅が，隋と結んで百済と高句麗を滅ぼした。
- ② 琉球が，清に朝貢した。
- ③ 邪馬台国の卑弥呼が，漢に使いを送った。
- ④ 豊臣秀吉の朝鮮侵略の際，元が朝鮮に援軍を送った。

問 5 文章中の空欄 **ウ** に入れる語句あ～うと、下線部◎について述べた文 X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

5

ウ に入れる語句

- あ 日本からの独立
- い ロシアからの独立
- う 清からの独立

下線部◎について述べた文

- X 母音字と子音字を組み合わせて用いる文字である。
- Y 日本で仮名文字(かな文字)が成立する以前に作られた。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X
- ④ い—Y ⑤ う—X ⑥ う—Y

問 6 下線部㉑の国が存在した時期に朝鮮半島で起こった歴史的出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

- ① 日本の統監府(統監)が置かれた。
- ② 甲午農民戦争が起こった。
- ③ 李承晩が初代大統領となった。
- ④ 三・一独立運動が起こった。

世界史 A

第 2 問 近現代における国のあり方について述べた次の文章 A～C を読み、後の問い(問 1～9)に答えよ。(配点 30)

A 次の資料は、アメリカ合衆国政府のエネルギー情報局が発表した、1970 年代の経済問題に関する報告書に、エネルギー情報局局長が寄せた巻頭言である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資 料

1972 年には、アメリカ人は、エネルギー消費の拡大に慣れきっていた。供給の安定性や価格の上昇にはほとんど頓着していなかった。しかし、1973 年には、エネルギー供給に関する予想は劇的に変わった。

混乱は、1973 年初めに始まった。節電が求められるようになり、燃料やその他の生活必需品の価格が急上昇していた。価格統制や配給システムは、こうした問題の解決に失敗しただけでなく、むしろ悪化させたように思われた。さらに 10 月には、㉔ 忘れられない事件が起こった。アラブ石油輸出国機構の諸国による石油禁輸によって、石油供給がさらに削減され、以前は不可能だと思われたほどの水準に価格が上昇したのである。消費者は、ガソリンスタンドで行列を作ったり、時には燃料を全く得られなかったりした。

悪いニュースの一年は、12 月の大統領声明で締めくくられた。エネルギー危機のため、㉕ 1920 年代に開始されたワシントンのナショナル＝クリスマス＝ツリーを点灯しないことが告知されたのである。

同年中、エネルギー問題は国民的関心であり続けた。エネルギー供給の途絶は、また、経済の弱体化やアメリカ合衆国の世界的な戦略的地位の低下のような国家的重要問題にも密接に関連していた。

問 1 下線部②の契機となった歴史的出来事について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① イギリスが、ユダヤ人の協力を得るために、バルフォア宣言を発表した。
- ② エジプトを中心とするアラブ側が、シナイ半島を占領していたイスラエルを攻撃して、戦争が始まった。
- ③ インティファダと呼ばれる、パレスチナにおけるイスラエルへの抵抗運動が始まった。
- ④ イラクのクウェート侵攻に対して、多国籍軍が介入した。

問 2 下線部①の時代の出来事について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① エジプトで、パフレヴィー朝が成立した。
- ② ドーズ案によって、アメリカ資本がドイツに投入されるようになった。
- ③ ピカソが、「ゲルニカ」を描いた。
- ④ フランスが、第1次五か年計画を開始した。

問 3 資料が説明する問題の後に、アメリカ合衆国に見られた変化について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 政府による経済の規制を減らす政策(レーガノミックス)が採られた。
- ② ニューディールが推進された。
- ③ ドルを基軸通貨とする国際経済体制を成立させた。
- ④ 「金ぴか時代」と呼ばれる経済成長期を迎えた。

世界史 A

B 次の図1～3は、トンチャイ=ウィニッチャクンの『地図がつくったタイ』に掲載されたタイの地図である。



アユタヤ朝の歴代の王は **ア** を奉じており、地図はその世界観に基づいて描かれた。図1は、18世紀の地図であるが、ブッダの説話に基づくシンボルと、チェンマイ、アユタヤといったタイの実際の地名が一連の地図の中に描かれている。

19世紀になると、西洋の地理学の影響を受け、地図は地球を一定の縮尺で描く図面となった。陸地が複数の国家に分かれることが前提とされ、地図に国境線が引かれるようになった。東南アジアに進出したヨーロッパ人が測量に基づく地図作成を進めると、西洋の技術を取り入れて近代化を進めたタイも対抗して地図を作った。図2は、1893年にヨーロッパ人が作成した地図であるが、タイの東側に3本の線が引かれている。これらは、タイの東側の地域の植民地化を進めた **イ** とタイの複数の測量隊による国境線であった。タイと **イ** の領土的主張がぶつかり合った結果、タイが大きく譲歩する形で国境線が決定された。

地図により、国家・国民の境界線が明確になると、その外側は異質な他者として認識された。タイで発行された図3では、冷戦を背景として、タイの領土の東に鎌と槌^{つち}で表象される社会主義国の軍人が政治的なシンボルとして描かれている。

地図上の線で区切られた領域には様々な意味が込められ、その中で国民という観念が形成されたのである。

図 2

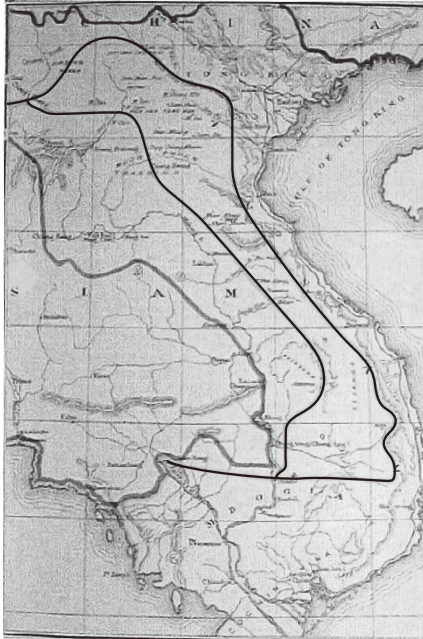


図 3



問 4 文章中の空欄 **ア** に入れる語あ・いと、**ア** のタイへの伝播に関する説明として最も適当な文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

ア に入れる語

あ 上座仏教(上座部仏教)

い 大乘仏教

タイへの伝播に関する説明

X インドから、中央アジアと中国を經由して、タイに伝わった。

Y インドから、セイロン(スリランカ)を經由して、タイに伝わった。

① あ—X

② あ—Y

③ い—X

④ い—Y

世界史 A

問 5 文章中の空欄 の国の対外進出の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アンボイナ事件(アンボン事件)を起こし、モルッカ諸島(マルク諸島)に進出した。
- ② 南アフリカ戦争を起こし、勝利した。
- ③ ポトシ銀山を開発した。
- ④ タヒチを獲得した。

問 6 前の文章を参考にしつつ、タイの地図とその歴史的変化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 18世紀の地図では、説話的な仏教世界と実際のタイの国家が、国境線を挟んで隣接していた。
- ② ラタナコーシン朝の下で、タイは西洋の地理学を受容し、測量に基づく地図が作成された。
- ③ 19世紀末にタイは植民地化され、地図はヨーロッパ人の領土的主張を反映したものとなった。
- ④ 冷戦期のタイでは、隣接する社会主義国との同質性を強調する地図が作られた。

C 校内上映会で映画「アンダーグラウンド」(1995年)を鑑賞した後、世界史の授業で感想を語り合った。

先生：この映画の主題は、前回の授業で学習したユーゴスラヴィアという国の歴史です。映画は、ユーゴスラヴィアの歴史を踏まえて、三章構成をとっています。例えば、第一章は「戦争」という題が付けられ、主に **ウ** の時期が扱われています。この頃のユーゴスラヴィアでは、どのようなことがありましたか。

井上：ティトーがパルチザンを組織して、活躍した時期ですね。ユーゴスラヴィアの歴史において、この時の経験が大きな意味を持っているように思いました。

田中：映画では、ユーゴスラヴィアを占領したドイツに対する抵抗運動が話の中心でした。

先生：第二章は「**エ**」と題されていますが、第二章の時期のユーゴスラヴィアでは、どのようなことがありましたか。

田中：確か、ユーゴスラヴィアは、コミンフォルムから追放され、独自の社会主義を追求していきました。また、**オ** ことが挙げられます。

先生：そうですね。映画の第二章や第三章の内容はどうでしたか。

井上：第二章は、この映画のタイトルを表すような内容でした。また、第二章の終盤にあったティトーの葬儀が、その後のユーゴスラヴィアを予感させるものでした。映画の第三章では、ユーゴスラヴィアの民族紛争が描かれていました。

田中：映画のラストで登場人物が「昔、ある所に、ある国があった」と言っていたのが印象に残っています。国家というものが永遠に続くという考えは自明のものではないということを改めて思いました。ユーゴスラヴィア以外にも、**㉔** 地図上から消えてしまった国があることを思い出しました。

世界史 A

問 7 文章中の空欄 **ウ** の時期に起こった出来事について述べた文として最も
適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

- ① フランコが、スペインにおいて人民戦線内閣に対して反乱を起こした。
- ② サライェヴォで、オーストリアの帝位継承者が暗殺された。
- ③ 南フランスのヴィシーに、対独協力政府が樹立された。
- ④ ドイツが、ソヴィエト政権とブレスト＝リトフスク条約を結んだ。

問 8 文章中の空欄 **エ** に入れる語あ・いと、 **オ** に入れる文
X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④から一つ選べ。 **14**

エ に入れる語

- あ 冷 戦
- い 両大戦間期

オ に入れる文

- X ベオグラードで、非同盟諸国首脳会議が開かれた
- Y オーストリアによって、ボスニア・ヘルツェゴヴィナが併合された

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

問 9 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① ベルリン会議で結ばれた条約によって，ルーマニアの独立が認められた。
- ② 西ドイツが，東ドイツに併合（編入，吸収）された。
- ③ ロシア，プロイセン，オーストリアによって，ポーランドが分割された。
- ④ セルビア，ギリシア，ブルガリア，モンテネグロの四か国によって，バルカン同盟が結ばれた。

世界史A

第3問 旅先での経験は、歴史の学びを深める良いきっかけとなる。このことについて述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。(配点 30)

A 中村さんは、現在は二つの国家に分かれているベンガル地方を旅行した。帰国後、旅行記をまとめるに当たり、同地方の歴史をさらに詳しく調べることにした。次のメモは、その一部である。

メモ

南アジアを代表する河川である **ア** は、ヒマラヤ山中に発し、人々が沐浴もくよくするヴァラナシ(ヴァーラーナシー、ワーラーナシー)のほとりを流れて、ベンガル湾に注ぎ込む。その下流域に広がるのがベンガル地方で、ムガル帝国衰退後、イギリスは現地勢力とフランスの連合軍を破って植民地支配を確立した。

植民地期までに、ベンガル地方の東部ではイスラーム教徒が、西部ではヒンドゥー教徒が住民の多数を占めるようになっていた。ベンガル分割令が出されると、植民地支配への反発が高まり、**イ**。こうした民族運動の高揚もあって、ベンガル分割令は取り消されたが、②その公布から約40年後、ベンガル地方はさらなる大変動に見舞われた。

問1 文章中の空欄 **ア** の河川の流域の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① モエンジョ = ダーロ(モヘンジョ = ダロ)の遺跡に代表される古代文明が栄えた。
- ② アーリヤ人が進出してきた後、都市国家(王国)が形成された。
- ③ マウリヤ朝が成立し、アクバルのときに支配を拡大した。
- ④ 下流域に、扶南が建国された。

問 2 文章中の空欄 に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ガンディーが、塩の行進を行った
- ② ウラービー(オラービー)の反乱が起こった
- ③ 国民会議派(国民会議)が、スワラージやスワデーシなどの方針を掲げた
- ④ ネルーの下で、プールナ＝スワラージが決議された

問 3 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 東部がインドの一部として、西部がパキスタンの一部として、植民地支配から脱した。
- ② 西部がインドの一部として、東部がパキスタンの一部として、植民地支配から脱した。
- ③ 東部が、バングラデシュとして独立した。
- ④ 西部が、バングラデシュとして独立した。

世界史A

B ロンドンの大英博物館を訪れた秋山さんが、帰国後、大学で教授と会話をしている。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

秋 山：大英博物館に展示されていたパルテノン神殿の大理石彫刻は、エルギン＝マールと呼ばれることもあったと聞きました。

教 授：どうしてそんな呼び方をするか知っていますか。

秋 山：1800年頃に、当時ギリシアを領有していた **ウ** に駐在したイギリス大使のエルギン卿が、彫刻をイギリスに持ち帰ったことに由来するとされています。当時の両国の良好な関係を背景に、彫刻を持ち帰る許可を **ウ** からもらったというのが、エルギン自身の主張です。

教 授：よく調べましたね。ただし、今ではギリシア政府から盛んに返還要求がなされています。これほどの歴史的遺産を移動させることを、当時の人々がどう考えていたかについても、調べてみましたか。

秋 山：例えばイギリスの詩人バイロンは、1812年にエルギンに関する詩を発表しています。**メモ**を持ってきたので、読み上げてみます。

メモ

省略

教 授：つまりバイロンは、 **エ** と考えていたということですね。

秋 山：はい、私もそう思います。彼はギリシアの独立戦争に直接参加しようと考えました。それにしても、ギリシアに強いこだわりを持っていたという点では、エルギンもバイロンも共通しているように思えます。

教 授：① 自分たちのルーツを古代のギリシアやローマに求め、憧れる傾向は、ヨーロッパの知識人の間で特に強かったと言われますから。

問 4 文章中の空欄 の国で、19 世紀に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ミドハト憲法が発布された。
- ② タバコ＝ボイコット運動が起こった。
- ③ ローザンヌ条約を結んだ。
- ④ トルコマンチャーイ条約を結んだ。

問 5 文章中の空欄 に入れる文あ・いと、文章中のバイロンの主張や行動の社会背景について述べた文 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

に入れる文

- あ 大理石彫刻を持ち帰ったエルギンの行為に、問題はない
- い エルギンの行為は強奪にほかならず、非難されるべきである

バイロンの主張や行動の社会背景について述べた文

- X 民族自決を内容に含む「平和に関する布告」が出された。
- Y ロマン主義が広まり、民族の個性や文化、地域の伝統が重視されるようになった。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

世界史 A

問 6 下線部①に関連して、古代ギリシア・ローマの文化やその受容について述べた文として波線部の正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① ポッティチェリは「アテネの学堂」で、古代ギリシアの学者たちの姿を描いた。
- ② アラビア語に翻訳されたアリストテレスの著作が、中世のイベリア半島で、ラテン語に翻訳された。
- ③ 古代ローマ帝国では、剣闘士の闘技場として、アクロポリスが建設された。
- ④ 大西洋三角貿易で蓄えた富により、イタリアの諸都市でルネサンスが始まった。

C 大学生の山根さんは夏休みに北京を訪れ、天安門広場を見学した。その広さに圧倒されるとともに、この広場が20世紀にしばしば政治運動の舞台となったことを思い出した。次のメモ1～3は、山根さんが帰国後にそれらの運動について改めてまとめたメモである。

メモ1

北京の学生が、パリ講和会議の結果に反発して起こした抗議運動。全国規模の反日運動に発展した。

メモ2

自らが主導した増産政策が失敗し、国家主席を退いた毛沢東が、権力を奪還するために起こした政治運動。大規模な集会が行われた。

メモ3

が始まり、この政策による経済の発展や、そこから生じた格差に刺激されて、学生・市民らが起こした民主化運動。

問7 メモ1の運動が起こった背景について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

①～④のうちから一つ選べ。

- ① 五・三〇事件によって、反帝国主義運動(民族運動)が高まった。
- ② 第1次国共合作が成立した。
- ③ 抗日民族統一戦線の結成が呼び掛けられた。
- ④ 儒教思想を批判する新文化運動が展開された。

世界史A

問 8 メモ2の運動のさなかに起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① ニクソン大統領が、中国を訪問した。
- ② 香港が、中国に返還された。
- ③ 中ソ友好同盟相互援助条約が締結された。
- ④ 中国が、北朝鮮に義勇軍を派遣した。

問 9 メモ3の空欄 オ の政策を推進した指導者の名あ・いと、オ の政策に関連する資料X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

24

オ の政策を推進した指導者の名

あ 劉少奇

い 鄧小平

オ の政策に関連する資料

X

市場経済であることがイコール資本主義ではなく、社会主義にも市場はある。証券、株式会社、こういったものが、資本主義特有なのかどうか、社会主義でも使えるのかどうか、断固、試してみるべきだ。

Y

省 略

① あ—X

② あ—Y

③ い—X

④ い—Y

第 4 問 人やモノの流れは、世界を一体のものとして歴史的に理解するために、非常に重要な要素となる。歴史上の移動や流通について述べた次の文章 A・B を読み、後の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

A 家族と共にイタリアで数年間暮らし、日本に帰国した山崎さんが先生と会話をしている。

山 崎：イタリアから日本に戻る際に船便で送った引っ越し荷物がなかなか届かずに困りました。新型コロナウイルスが世界的に蔓延^{まんえん}していた影響でしょうか。

先 生：そうかもしれませんが、山崎さんが帰国した頃にスエズ運河において座礁事故が発生し、船の通航ができなくなったことも関係していたのかもしれない。

山 崎：スエズ運河での事故が、私たちの引っ越しと何か関係があったのでしょうか。

先 生：スエズ運河は①世界の東西を結ぶ交通の大動脈なので、関係していた可能性はあると思います。この地域は、スエズ運河が開通した後はもちろん、それ以前からも非常に大きな地政学的重要性を有していました。だからこそ、あのナポレオンも遠征を敢行したのです。

山 崎：ナポレオンは当時、イギリスと **ア** との連絡を断つために、この地域に遠征したんですね。

先 生：そのとおりです。それから約 60 年後に、やはりフランス人である **イ** によって運河の建設は開始され、およそ 10 年の歳月をかけて完成に至るのです。

山 崎：今回は事故が発生したわけですが、スエズ運河が通航できなくなるような出来事は、これまでには起きていなかったのでしょうか。

先 生：いい質問ですね。第二次世界大戦後、エジプトで、イギリスの管理下にあったスエズ運河の国有化が宣言され、②スエズ戦争が勃発しました。この時にも、スエズ運河の通航は難しくなり、航行の安全を確保するために、国連平和維持軍の創設が提案されています。

世界史 A

問 1 文章中の空欄 **ア** に入れる語あ・いと、空欄 **イ** に入れる人物の名 X～Z との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

ア に入れる語

- あ インド
- い ケープ植民地

イ に入れる人物の名

- X ラッフルズ
- Y レセップス
- Z ゴードン

- ① あ—X
- ② あ—Y
- ③ あ—Z
- ④ い—X
- ⑤ い—Y
- ⑥ い—Z

問 2 下線部②に関連して、スエズ運河を通過したと考えられる事例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① アメリカから日本に派遣されたペリーの艦隊
- ② ロシアから日本に帰国した大黒屋光太夫の一行
- ③ 太平洋を探検したクックの船団
- ④ ヨーロッパから日本に戻った岩倉使節団

問 3 下線部①の出来事と次の文う・えが年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

27

う パレスチナ解放機構(PLO)が結成された。

え エジプトで、ナセルらの自由将校団が、王政を打倒した。

① う → え → 下線部①

② う → 下線部① → え

③ え → う → 下線部①

④ え → 下線部① → う

⑤ 下線部① → う → え

⑥ 下線部① → え → う

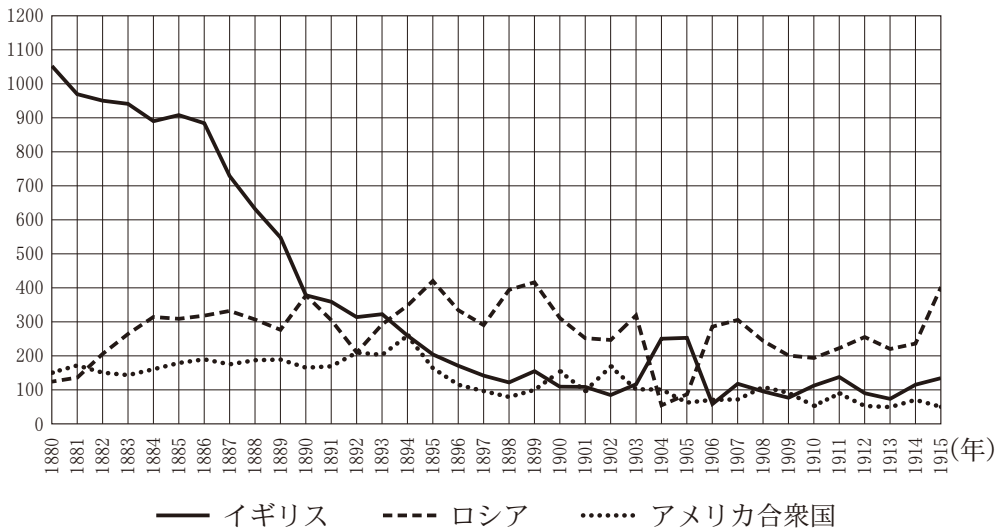
世界史 A

B 次のグラフは、1880年から1915年までの36年間における、中国からの紅茶の輸出量の推移を、国別に示したものである。ヨーロッパとの貿易が一港に限定されていたアヘン戦争以前、紅茶は **ウ** からヨーロッパに多く輸出されたが、南京条約締結後には **ウ** 以外からも輸出されるようになった。紅茶の最大の輸出先は当初イギリスであった。グラフで示した時期のロシアへの輸出量に目を向けると、㉔ 輸出量が10万担以下に落ち込んだ時期があったものの、イギリスへの輸出量を上回る年も多かった。ロシアへの紅茶輸出の拠点としては、黄海沿岸の諸都市も重要な位置を占めた。

なお、輸出先の国で茶が全て消費されたわけではない。例えば、イギリスへは紅茶だけでなく緑茶も輸出されたが、それらの中には最終的に㉕ アフリカ大陸、特にその北部へ再輸出されたものもある。そのため、茶の輸出や消費の実態を把握するためには、様々な資料を見比べる必要がある。

グラフ 中国から各国への紅茶輸出量

(単位：1000担)



(注) 1担は約60kg。

(秦惟人「近代中国の茶貿易」より作成)

問 4 文章中の空欄 **ウ** の都市または地域の歴史について述べた文として最も
 適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① 北宋の都が置かれた。
- ② 中国国民党による北伐の起点となった。
- ③ 南京条約によってイギリスに割譲された。
- ④ 玄奘が持ち帰った仏典を収めるための大雁塔が建てられた。

問 5 グラフから読み取れる事柄 **あ・い** と、下線部 **㉔** の時期に起こった出来事 **X・Y** との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

グラフから読み取れる事柄

あ 武昌で清の軍隊による蜂起が起こった年から翌年にかけて、全ての国への
 輸出量が減少している。

い グラフの最終年におけるイギリスへの輸出量は、清仏戦争が勃発した年の
 イギリスへの輸出量の 2 分の 1 以下である。

下線部 **㉔** の時期に起こった出来事

X 山東半島(山東省)における日本とドイツとの軍事的衝突

Y 遼東半島における日本とロシアとの軍事的衝突

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

世界史 A

問 6 下線部㉑の大陸において、グラフで示した時期に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① イタリアが、二度にわたってモロッコ事件を起こした。
- ② アフリカ統一機構(OAU)が結成された。
- ③ スーダンで、マフディーの反乱(マフディー派の抵抗運動)が起こった。
- ④ 「アラブの春」で、チュニジアの独裁政権が倒れた。